

第 1 回学校運営協議会 次第

進行：教頭

記録：CS ディレクター

1. 開会のことば
2. 授業参観（参観の視点・参観）
3. 会長あいさつ
4. 校長あいさつ
5. 委員任命書の交付、自己紹介（委員・学校職員）
6. 浜松市学校運営協議会規則確認
7. 副会長の指名
8. 議長の選出と、今後の選出について
9. 前回会議録確認
10. 熟議
 - (1) 授業参観について
 - (2) 令和 8 年度学校運営の基本方針について（校長より）
 - (3) いじめ基本方針について
 - (4) 学校運営協議会自己評価の実施について
 - (5) 夢育やらまいか事業に対する意見書について（計画説明…教頭より）
11. 報告
 - (1) 学校・生徒の様子について
12. 連絡事項
 - ・ 次回開催日時 令和 8 年 1 0 月 8 日 (木) 1 3 : 3 0 ~
 - ・ 次回熟議内容について
学年主任あいさつ、生徒の様子等の紹介、キャリア体験について
13. 閉会のことば

令和8年度 学校運営協議会メンバー

◎学校運営協議会委員

会長	うちやま てつや 内山 哲哉
委員	あんど てつひろ 安戸 哲弘
委員	すずき ちかこ 鈴木 千香子
委員	すずき ゆかり 鈴木 ゆかり
委員 学校支援コーディネーター	なかた しんご 仲田 伸吾
委員	すぎやま まさこ 杉山 雅子
委員	ほそかわ ようこ 細川 陽子
委員	うちやま まさあき 内山 雅昭
オブザーバー	とだ まこと 戸田 誠

◎学校

校長	久保 賢治
教頭	河合 司
教務 CS担当職員	岩田 敦夫
CSディレクター	荒谷 朋子

校訓 「たくましい自立」

学校教育目標

「夢を語り 粘り強く 挑戦する生徒」

目指す姿



学校



教師



生徒

確かな学力



- ・学びのインプット・アウトプットの充実
- ・情報活用能力の育成

保護者・地域と
共に作る学校

専門性とマネ
ジメント力
のある教師

自立し、学び
を楽しむ生徒

豊かな感性



- ・地域の素材を生かした体験活動
- ・キャリア教育の充実

キーワード
つなぐ
・
ひろげる

健やかな心身



- ・防災安全教育の推進
- ・基本的生活習慣の確立

生徒理解



- ・発達支持的生徒指導の推進
- ・一人一人の成長を促す指導

学校を支える組織

みんなで手を取り合い、生徒の成長を支えます

職員集団

地域

保護者

学校運営
協議会

健全
育成会

令和 8 年度 浜松市立引佐南部中学校 学校経営方針(概要)

～ つなぐ ひろげる:地域と共にある教育活動の推進 ～

1. はじめに:経営の柱

予測困難な社会を生き抜く生徒たちには、学校内にとどまらない様々な社会での体験・経験が不可欠です。今年度も「つなぐ ひろげる」をキーワードに、地域人材や素材を積極的に活用し、多様な他者と協働する「学びのデザイン」を構築します。また、部活動の地域展開を単なる改革ではなく、多様な大人と関わる豊かな成長の機会と位置付け、地域と共にある学校づくりを推進します。

2. 学校経営の全体像

校 訓 : 「たくましい自立」

学校教育目標: 「夢を語り 粘り強く 挑戦する生徒」

目指す学校像: 保護者・地域と共に作り、一人ひとりを大切にする、教育活動の充実した学校。

目指す教師像: 専門性とマネジメント力を備え、組織として生徒・保護者に寄り添える教師。

目指す生徒像: 自立し、学びを楽しむ生徒。自分の言葉で夢を語り、自分らしく輝く生徒。

3. 4 つの重点取組事項

① 豊かな感性の育成(キャリア教育の推進)

引佐地区の豊かな自然、伝統芸能、地域の教育力を強みとして生かします。職場体験や地域素材を活用した体験活動を通じ、コミュニケーション能力や主体性、社会的・職業的自立に向けた「人間関係形成・社会形成能力」を育みます。

② 確かな学力の育成(主体的・対話的で深い学び)

学力の二極化や情報活用能力の課題に対応するため、ICT を効果的に活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」を推進します。特に、学びを「アウトプット」する活動を重視し、総合的な学習の時間における地域探究活動を充実させます。

③ 健やかな心身の育成(防災教育の充実)

規則正しい生活習慣の確立、家庭や地域を基盤とした健全育成活動の推進、防災安全教育の推進を目指します。特に防災教育においては、「助けられる人から助ける人」への成長を目指します。地震や土砂災害等の自然災害から自らの命を守るための計画的な防災教育を推進します。

④ 生徒理解の深化(発達支持的生徒指導)

問題が起きてから対応するだけでなく、未然に防ぐ「土壌づくり」に注力します。全ての生徒が「自分は大切にされている」「役割がある」と実感できる発達支持的生徒指導を充実させ、自己肯定感と他者への思いやりを育みます。

4. 今後の課題

部活動の地域展開: 学級減を見据えた活動の精選と円滑な移行準備。

学習環境の現代化: タブレット端末携行に適した通学バッグ、暑さ対策のための制服の見直し。

個別最適な支援: 特別支援教育のニーズ増加に伴う、組織的・継続的な指導体制の構築。

(様式1)

学校番号 (小・中) 049)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(引佐南部中)学校運営協議会長

<本年度の目標>

学校・家庭・地域の役割を明確にし、つながり、ひろげながら、より良い意見交換や支援を具体的に進め、学校からの問題提起を踏まえて、ともに話し合いを深める。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

○校長による基本方針の説明と、具体的かつきめ細やかな話を基に、2025年度のキーワード“つなぐひろげる”についての理解を深める熟議ができた。また、学年主任による生徒たちの姿や成果と課題を伝えていただけたことにより、さらに現状の南部中の様子がよく分かり、理解が深まり、様々な点から意見が出て話し合うことができた。

○教育方針の在り方が明確化されていて理解しやすく熱意を感じられました。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

○10月の3年生の発表会はとても充実していて、学校を理解する良い機会だった。

○学校評価アンケート集計報告についての協議で、生徒・保護者・教員の評価項目の認識に違いがあることが明確になったと感じる。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

○保護者の目にとまりやすいブログで開催を発信していただいた事により、関心をお持ちいただいた方も多いのではないかと思うが、協議会そのものの存在を知らない人もまだ多く、今後も情報発信の方法は検討が必要であると感じる。

○自分の所属する団体等で問題提起として発信した。

<評価項目4> 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

○学校・家庭・地域との役割を明確にしながら連携を深め、子供たちを取り巻く環境や教育の変化をとらえて、新しい時代の学校の在り方や、より良い支援を具体的に進めるための熟議をしていく。

○今年度の目標を大きく変えず、継続的に目標としていきたい。

(様式1)

学校番号 (小・中) 049)

令和8年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(引佐南部中)学校運営協議会長

<本年度の目標>

学校・家庭・地域との役割を明確にしながら連携を深め、子供たちを取り巻く環境や教育の変化をとらえて、新しい時代の学校の在り方や、より良い支援を具体的に進めるための熟議をしていく。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

<評価項目4> 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

(様式1)

令和8年5月7日

浜松市立引佐南部中学校
夢をはぐくむ学校づくり推進協議会
代表 野澤 利行 様

浜松市立引佐南部中学校運営協議会
会 長 内 山 哲 哉

夢育やらまいか事業に対する意見書

令和8年5月7日に開催した学校運営協議会において、下記の意見を議決しましたので報告します。

記

1 学校運営の基本方針を具現化するための意見

学校では、1年で地域学習、2年で職場体験、3年で生き方学習（講師を招いてのライフプラン作成、発表等）を行っている。

この地域は学校とのつながりが強く、協力的である。また、様々な方面で活躍する地元出身の人材が豊富である。そのような地域とのつながりを生かし、より充実したキャリア教育の推進を図っていくとよい。

本年度も、これまでの活動を継続しながら以下の活動を取り入れ、来年度以降、必要に応じて改善を加えていくのはどうか。

- ① 地域人材を活用し、生徒が学習に興味・関心をもてるような講演会、授業、体験等の場を設定する。
⇒ 実際に体験できるような活動を実施する。
- ② 地元での職業体験によって、職業意識の向上とともに地域のよさ、課題等についても考える機会にする。
⇒ 学区内の企業、商店、農家等で職業体験を行う。